

# ジャパン・プラットフォーム イエメン人道危機対応計画

(2026年5月)

2026年5月～2027年5月

本対応計画の事業は令和8年度当初予算に資する事業である。



タイズ県における職業訓練、ビジネス講習、ライフスキル講習を通じて学んだことを共有する参加者の若者

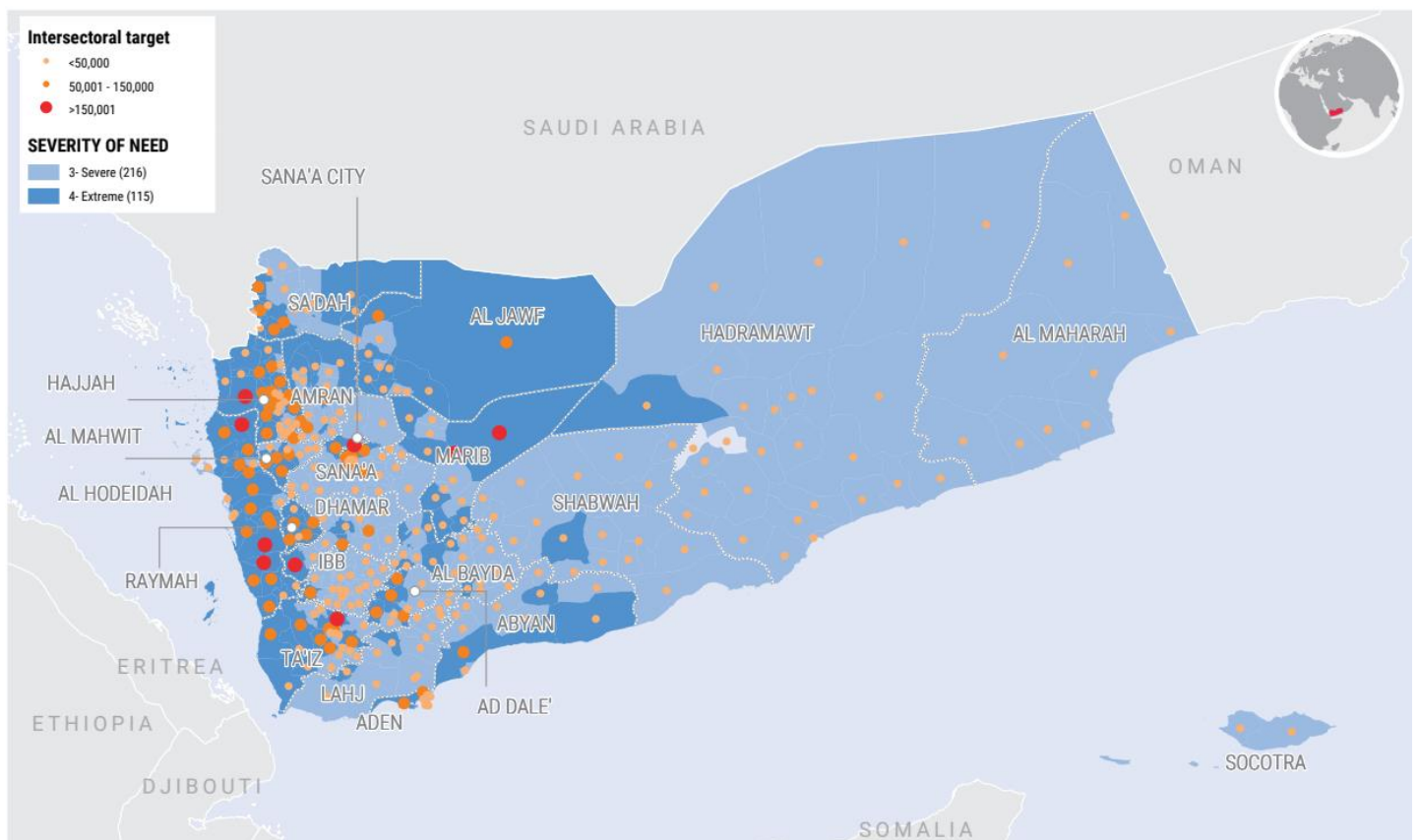
©ACCEPT

# 目次

1.背景 .....	3
2.2025 年度の振り返り .....	5
3.これまでの JPF による支援実績 .....	5
4.優先事項 .....	5
5.対応方針 .....	6
6.セクター別支援計画 .....	6
〔食料安全保障と農業〕 .....	6
〔保健・医療セクター〕 .....	7
〔教育セクター〕 .....	8
〔保護・心理社会的支援セクター〕 .....	9

※本対応計画は、2026 年 4 月時点の情報に基づいている。JPF の加盟団体が当該国において具体的な事業を形成する際は、最新の情報および当該国における国際的な対応計画（Humanitarian Response Plan など）に則ることが前提となる。

## Severity of Needs in 2026



# 1.背景

---

2026年現在、イエメンでは11年以上にわたる武力紛争、経済の悪化、気候変動に伴う災害、感染症流行が複合し、人道危機はさらに深刻化している。OCHAによれば、2,230万人が人道支援と保護サービスを必要としており、その中には1,095万人の女性・女児、520万人の国内避難民（IDPs）、32.9万人の移民、6.3万人の難民・庇護申請者が含まれる。2025年には、厳しい活動制約と大幅な資金削減により、国連機関が年末にかけて重要な命を守る支援を縮小せざるを得ず、人々の脆弱性は一段と高まった。（[The United Nations in Yemen](#)）

とりわけ食料・栄養分野の状況は危機的である。急性食料不安に直面する人は1,830万人に上り、一部地区では危機段階から緊急段階への悪化や、破局的状況の兆候もみられる。5歳未満児の急性栄養不良は220万人超、うち重度急性栄養不良は516,157人に達し、さらに妊娠・授乳中の女性130万人も栄養不良に陥ると見込まれている。（[The United Nations in Yemen](#)）

保健・水衛生分野も逼迫している。2026年には1,440万人がWASH支援を、1,970万人が保健支援を必要としており、完全に機能している保健施設は全体の59.3%にとどまる。コレラをはじめとする感染症の流行も続いており、2025年末までに疑いのある症例93,496件と死亡248人が報告された。加えて、2025年8月の豪雨・洪水は10県に被害を及ぼし、すでに脆弱な保健・生活インフラをさらに圧迫した。（[The United Nations in Yemen](#)）

教育と保護の危機も深刻である。660万人が教育支援を必要とし、450万人の子どもが不就学の状態にある。950万人の子どもが暴力、搾取、虐待、家族離散、爆発性残存物による危険などから守られるための保護支援を必要としており、イエメンは地雷・不発弾等による汚染が極めて深刻な国の一つでもある。障害者、ムハマシーン<sup>1</sup>、女性と女児、国内避難民、難民・移民は、こうした複合危機の中で特に深刻な排除と保護リスクに直面している。（[ユニセフ](#)）

このような状況を受け、2026年のYemen Humanitarian Needs and Response Plan（HNRP）は、1,200万人への支援を目標とし、うち940万人を重度ニーズに基づく優先対象としている。必要資金は21.6億米ドルであるが、現在の資金充足率は約9.7%にとどまっており、必要規模に比して著しい資金不足が続いている。イエメンは依然として「忘れ去られた人道危機」の一つであり、命を守る即時支援の確保とともに、継続的かつ柔軟な資金拠出が急務である。（[The United Nations in Yemen](#)）

同時に、人道支援だけでは危機の根本要因を解消できない。不可欠なのは、基礎的サービスの回復、生計再建、気候・疾病ショックへのレジリエンス強化、そして政治的解決に向けた前進を組み合わせた包括的対応である。人道・開発・平和の連携を強めながら、最も脆弱な人々の保護と尊厳を守る支援を継続していく必要がある。（[The United Nations in Yemen](#)）

---

<sup>1</sup> 人口の約10%を占める、東アフリカ起源とされる民族マイノリティで、古来からイエメン社会において疎外されてきた。（Freedom house, 2019）

## 主な出典

- OCHA / United Nations Yemen, *Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026 (March 2026)*. ([The United Nations in Yemen](#))
- OCHA, *Financial Tracking Service: Yemen 2026 funding summary*. ([fts.unocha.org](https://fts.unocha.org))
- UNICEF, *Yemen 2026 HAC Appeal*. ([ユニセフ](#))
- WHO EMRO, 2025年8月洪水後の保健リスクに関する更新。 ([emro.who.int](https://emro.who.int))

## イエメンにおける支援を必要とする人数 単位:100万人

Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026 (OCHA)

TOTAL	WOMEN	GIRLS	MEN	BOYS	WITH DISABILITY
22.3M	5M	6M	5.1M	6.2M	15%

## イエメンにおける 2026 年支援必要額に対する現在の資金額と充足率 (2026 年 4 月 3 日現在)

Financial Tracking Service (OCHA) US\$m=100 万ドル

Funded (US\$m)	Required (US\$m)	% coverage
210.7	2,162.6	9.7%

## 2.2025 年度の振り返り

イエメン国内では、2025 年度当初予算を財源に 3 団体 3 事業が実施された。

そのうち、ADRA Japan による「ラヘジュ県とアブヤン県における緊急農業復旧支援事業 6」では、食料価格高騰や通貨下落等により食料不安が深刻化する中、灌漑システムの復旧に加え、適応型農業、マーケット、農家に対する研修を組み合わせることで、脆弱世帯の生計基盤とレジリエンスの強化が図られている。また、事業専属のモニタリング・評価体制や事業後のフォローアップも重視し、事業効果の継続的な確認につなげている。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンによる「ラヒジュ県における国内避難民の子どもたちへの教育支援および地域の保護課題対処能力向上支援事業」では、2 か所の学習支援センターを通じたノンフォーマル教育、補習授業、学用品配布、課外活動に加え、子どもの保護研修やケースマネジメントを組み合わせ、国内避難民の子どもたちが安全な環境で学びを継続できるよう、教育と保護の統合支援が進められている。加えて、保護者会・生徒会の主体的な関与や行政との合同モニタリングを通じ、地域及び行政の関与を高めながら、学習環境の維持管理や事業の持続性強化も図っている。

さらに、アクセプト・インターナショナルによる「タイズ県における特に脆弱な世帯を対象とした包括的なエンパワーメント支援」では、現金給付による喫緊の生活支援に加え、職業訓練、ビジネス講習、ライフスキル講習、継続的なフォローアップを通じて、脆弱な国内避難民及びホストコミュニティの生計向上と自立を後押しするとともに、地域対話・協働推進チームの立ち上げや地域住民との対話セ

ッション、サービス提供活動を組み合わせることで、負の対処メカニズムの回避と地域内の前向きな協力関係の構築に向けた取組が進められている。

### 3.これまでの JPF による支援実績

JPF は、2015 年 10 月からイエメンにおける支援を開始し、これまでに合計 47 事業を実施しており、総事業費は約 24.8 億円、総裨益者数は約 83 万人となっている。

### 4.優先事項

優先事項 <sup>2</sup>	優先事項内容
1. 安全性、公平性、包摂性を確保しつつ、最も深刻なニーズを抱える地域・人々を優先対象として、マルチセクターにまたがるライフセービング支援を届け、危機に起因する罹患率と死亡率の低減に寄与する。	2026 年イエメンでは、食料危機、急性栄養不良、感染症、水不足、避難の長期化が重なり、命に直結するニーズが一層深刻化している。この為、食料安全保障、保健、栄養、保護、WASH、シェルター/NFI、避難民対応等を相互に連動させた統合的対応を、最重度の地区に対して優先的に実施する。加えて、洪水、干ばつ、感染症流行、新規避難などの突発的事象に備え、早期警戒、事前準備、即応体制を強化し、限られた資源を最も命の危険が高い地域と人々に集中させる。
2. 人道原則に基づき、差別のない人道支援と保護サービスをタイムリーかつ確実に届けることで、最も脆弱な被災者の保護と尊厳の改善を図る。	女性、子ども、高齢者、障害者、移民・難民、ムハマシーンなどは、暴力、搾取、地雷・不発弾、強制移動、法的文書の欠如、支援からの排除といった複合的な保護リスクに直面している。したがって、保護の主流化を全セクターで徹底し、GBV 対応、子どもの保護、地雷対策、法的支援、MHPSS、アクセシビリティの向上、PSEA を含む安全で尊厳ある支援を強化することを優先事項とする。特に、支援の選定、提供、苦情対応、照会体制の各段階において、差別のないアクセスと当事者の尊厳確保を徹底する。
3. 人道支援の効果を最大化する為、人びとを中心に据えた、地域主導で説明責任が明確な、費用対効果の高い対応体制を強化する。	深刻な資金不足とアクセス制約の下で、より人間中心で、地域主導かつ費用対効果の高い対応への転換を重視する。このため、コミュニティの声を反映した支援、苦情・フィードバック対応の強化、現地 NGO や女性主導組織を含むローカルアクターへの資金・役割の拡大、包摂的な参加の確保を進める。また、人道支援のみでは危機の根本要因を解消できないことを踏まえ、基礎サービスの回復、生計再建、レジリエンス強化に向けて、開発・平和との連携も進めていく。

#### 【事業実施上の留意点】

<sup>2</sup> 支援対象国における最新の人道危機状況、社会・経済状況、セクター別ニーズ/ニーズギャップの規模、他アクターによる支援状況/計画、国連が定める戦略目標 (Strategic Objectives)、JPF の特性等を勘案したうえで、本プログラムにおいて JPF が推奨する事項。ただし、支援内容 (セクターや地域等を含む) を制限するもの、本事項に適合しない支援内容を排除するものではない。

公平性を担保した人道スペースを確保し、一定程度の外部性（独立性）の要素のあるモニタリング体制を整備する：一定程度の外部性（独立性）の要素のあるモニタリングを行うことで、Do no harm の原則を順守するとともに、支援の適切性および有効性を担保する。また、今後のイエメン国内支援の質の向上に寄与すること。

## 5.対応方針

### プログラム概要

期 間	2026 年 5 月～2027 年 5 月 (当初予算を財源とする事業は、事業開始から 1 年間までを事業期間とする)
支援対象地域	イエメン
2026 年度予算	100,000,000 円 (令和 8 年度当初予算)

## 6.セクター別支援計画

### 〔食料安全保障と農業〕

イエメンにおける食料安全保障の見通しは、依然として極めて厳しい状況にある。総合的食料安全保障レベル分類（IPC）分析によれば、2025 年 9 月から 2026 年 2 月において、全人口の約 52%にあたる約 1,800 万人が IPC フェーズ 3（危機）以上の急性食料不安に直面し、うち約 555 万人がフェーズ 4（緊急）またはフェーズ 5（飢きん）に陥っており<sup>[1]</sup>、前回の分析と比較して約 120 万人がフェーズ 3 からフェーズ 4 に分類されるなど、食料危機の状況は悪化している<sup>[2]</sup>。こうした悪化の要因として、紛争に起因する経済崩壊や失業の拡大が購買力と生活水準の低下につながっているほか、国際的な食料価格の高騰、港湾や工場といった民間インフラを標的とした空爆、行政の分断による混乱等が国内避難民の増加を招き、生計手段や食料へのアクセスを寸断してきた<sup>[3][4]</sup>。

農業セクターは、労働人口の 50%以上に雇用機会を提供するとともに、GDP の約 15～24%を占め、食料安全保障の確保や経済回復の手段としても重要であると位置付けられる<sup>[5]</sup>。しかしながら、燃料、肥料、種子といった必需投入資材の高騰や砂漠化に伴う耕作可能地の減少（年間 3～5%）、水不足による農業生産量削減（最大 40%）、洪水、土壌の浸食といった気候変動に対する脆弱性も極めて高く、国内避難民やムハマシーン、小規模農家、収入の乏しい家庭にとって重大な課題となっている<sup>[6]</sup>。

こうした状況に対応するため、OCHA 及び食料安全保障・農業クラスターは、当面の食料不足に対応するための現物・現金給付の双方を活用した緊急食料支援と、人々の経済的自立を促進し、中長期的に持続した食料確保を可能とするための緊急生計回復支援を両軸とした支援方針を継続する戦略をとっている<sup>[7]</sup>。限られた資源を最大限に活用するために、特に脆弱な人々へのターゲット選定と効果的かつ効率的な支援実施が求められる。

<sup>[1]</sup> IPC, 27 June 2025, Yemen: Acute Food Insecurity Situation for May - August 2025 and Projection for September 2025 - February 2026

- [2] Yemen Food Security & Agriculture Cluster, 25 December 2025, [Humanitarian Needs Overview and Response Strategy](#), p.2
- [3] FAO, 9 April 2026, [Yemen Market and Trade Bulletin - February 2026](#), p.1
- [4] Yemen Food Security & Agriculture Cluster, 25 December 2025, [Humanitarian Needs Overview and Response Strategy](#), p.2
- [5] Yemen Food Security & Agriculture Cluster, 25 December 2025, [Humanitarian Needs Overview and Response Strategy](#), p.2
- [6] OCHA, 29 March 2026, [Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026](#), pp.47-48
- [7] OCHA, 29 March 2026, [Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026](#), pp.48; Yemen Food Security & Agriculture Cluster, 25 December 2025, [Humanitarian Needs Overview and Response Strategy](#), p.3

## 〔保健・医療セクター〕

イエメンは WHO の緊急対応区分において最上位である「グレード 3(緊急事態)」に分類されるほど、切迫した健康リスクに瀕している<sup>[1]</sup>。医療資源可用性モニタリングシステム(HeRAMS)によれば、完全に機能している医療施設は全体の 60%にとどまり<sup>[2]</sup>、港湾の閉鎖や航空輸送の制限等により燃料、医薬品、医療物資はいずれも不足している中、世界銀行の撤退や人道支援資金の削減により、約 2,300 の医療施設が影響を受けると見込まれている<sup>[3]</sup>。

長期化する紛争により発生した約 480 万人の国内避難民は<sup>[4]</sup>、過密な避難施設で清潔な水が手に入らず、不衛生な環境に曝されていることに加え、完全に予防接種を受けた子どもは全国で 63%と定期予防接種率が低いことが、コレラやポリオ、麻しん、ジフテリア等複数の感染症の同時発生をもたらし、脆弱な保健システムにさらなる圧力を与えている<sup>[5]</sup>。また、気温上昇や不規則な降雨、洪水といった気候要因が重なり、マラリアやデング熱の感染拡大も進んでいる。人口の約 3 分の 2 がマラリアの感染リスクを抱えており、特に脆弱な妊婦や 5 歳未満の子どもの罹患が懸念事項となっている<sup>[6]</sup>。その上、長期化する武力紛争や避難の影響により、心身の健康への影響も深刻である。人口の約 4 分の 1 が何らかの精神疾患を抱えていると推定されており、7~10 歳の子どもの 15.7%に精神障害が認められるとの報告もある<sup>[7]</sup>。

以上を踏まえ、医療サービスにアクセスできずにいる脆弱な人々に対する診療、心理カウンセリングを含む緊急保健サービスの提供、感染症・媒介動物由来疾病対策、必須物資の供給といった救命的かつ緊急的な活動に加え、持続的な質の高い医療サービスの提供と地域コミュニティのレジリエンス向上のための能力構築に注力することも極めて重要となる<sup>[8]</sup>。

[1] WHO, 3 February 2026, [Yemen Health Emergency Appeal 2026](#), p.2

[2] Health Resources and Services Availability Monitoring System, [Yemen – Overview](#), (Accessed on 15 April 2026)

[3] OCHA, 29 March 2026, [Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026](#), p.51

[4] UNHCR, [Where we work – Yemen](#), (Accessed on 15 April 2026)

[5] WHO, 3 February 2026, [Yemen Health Emergency Appeal 2026](#), p.2

[6] WHO, 3 February 2026, [Yemen Health Emergency Appeal 2026](#), p.2

[7] Alraimi, A. A., Shelke, A. & Al-Hada, H., January 2025, [Mental Health Services in Yemen: Challenges and Possible Solutions](#), *Journal of Indian Academy of Applied Psychology*, Vol.51, No.1, p.399

[8] OCHA, 29 March 2026, [Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026](#), p.51

## 〔教育セクター〕

イエメン HRP2026 によると、長引く紛争、経済危機、教育システムの崩壊により、660 万人が教育支援を必要としている<sup>[1]</sup>。2025 年 1 月に発行されたイエメン HRP2025 では不就学児を当時 320 万人と推計<sup>[2]</sup>していたが、2026 年 4 月時点での UNICEF による報告では約 130 万人増加した 450 万人の子どもたちが不就学であるとしている<sup>[3]</sup>。この学習の危機の背景にはさまざまな要因が複合的に存在している。長期間にわたる紛争の影響により、約 2,375 の学校が、空爆による損壊等の被害を受けるか、軍事目的、国内避難民の避難場所など学校以外の用途で使用されている<sup>[4]</sup>。学校では教科書を含む学用品や備品、教員研修の不足、適切な衛生設備の欠如に加え、教員への不定期な給与支払いも 2016 年から続いており、全教員の約 65%にあたる 19 万 3,000 人が給与を受け取れていない<sup>[5]</sup>。国内避難民の子どもたち 170 万人が、世帯収入の減少や頻繁な移動等により学習機会を得にくい状況にあり、ホストコミュニティの子どもと比較し、中退率が 2 倍になることが報告されている<sup>[6]</sup>。また、少ない女性教員、長距離通学などが原因で、女子の就学率が低くなる傾向がある<sup>[7]</sup>。さらに、障害のある就学年齢の子どもは約 59 万人いると推計されているが<sup>[8]</sup>、障害のある子どもに配慮した指導方法や学校設備は整備されておらず、身体的・精神的な障害のある子どもが中退するリスクも同様に高い。少数民族であるムハマシーンも極度の貧困や公的証明書類の不足等により、教育へのアクセスが大きく制限されている<sup>[9]</sup>。

これらの要因により、初等教育、前期中等教育の不就学率はそれぞれ約 23%、29%であることが報告されており<sup>[10]</sup>、質の高い教育を受けられない子どもたちが増加した結果、UNICEF が実施した子どもの読解力を測る調査では、単純な文章を読むことのできる子どもはイエメン国内に 5%しかいないと報告されている<sup>[11]</sup>。

上記の状況を踏まえ、JPF では、学習機会を提供し、子どもたちの学習の継続を支え、学習環境の整備を推進し、心理社会的支援を教育活動に統合することで、女子や障害のある子ども、国内避難民やムハマシーンなどあらゆる子どもや若者たちが安心安全な学習環境で学べるよう取り組んでいく。また、安全な学習スペースの提供を通して、生命を脅かすリスクから子どもや若者たちを保護すると同時に、教育へのアクセスと質の改善に取り組み、最も脆弱な状態に置かれた人々の命と尊厳を守り、将来的な地域社会の発展に貢献する。

<sup>[1]</sup> OCHA, Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026, March 2026, p.44

<sup>[2]</sup> OCHA, Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2025”, January 2025, p.44

<sup>[3]</sup> UNICEF, UNICEF Yemen Humanitarian Situation Report No. 2 (End of Year), April 2026, p2

<sup>[4]</sup> OCHA, Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026, March 2026, p.44

<sup>[5]</sup> OCHA, Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026, March 2026, p.44

<sup>[6]</sup> Save the Children “Hanging in the Balance: Yemeni Children’s Struggle for Education - Yemen”, March 2024. P6,7

<sup>[7]</sup> Govt. Yemen “Yemen Socio-Economic Update, Issue 83”, December 2023, P9

<sup>[8]</sup> OCHA, Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026, March 2026, p.44

<sup>[9]</sup> Save the Children, “Out of School and Into Harm’s Way: Voices of Muhamasheen Children”, August 2025

<sup>[10]</sup> UNICEF, “Yemen MICS-EAGLE Factsheet 2024 October 2024, p6

<sup>[11]</sup> UNICEF “Impact of Education Disruption: Middle East and North Africa”, March 2022, p1

## 〔保護・心理社会的支援セクター〕

イエメン全土において1,790万人が暴力や性的搾取、地雷・不発弾などさまざまなリスクからの保護の支援を必要としている<sup>[1]</sup>。長引く紛争、経済危機、頻繁な移動、司法機関への限られたアクセスによってジェンダーに基づく暴力(GBV)、虐待、家族との離散など保護に関する課題は多岐にわたり、不安やストレスを抱えながら保護の支援を必要とする女性と子どもの数はそれぞれ420万人と950万人にのぼる<sup>[2]</sup>。教育へのアクセスが阻害された子どもは児童労働や児童婚、武装勢力による徴用など「子どもの保護」に関するリスクが急激に高くなる傾向があり、<sup>[3]</sup>女性、女子は早婚、家庭内暴力、女性器切除などを含むジェンダーに基づく暴力のリスクも高い<sup>[4]</sup>。保護に関するリスクは世帯主である女性や子ども、障害のある人々、高齢者、ムハマシーン、国内避難民などあらゆる属性の人々に及び、これらのリスクに対して予防・緩和・対応による包摂的な支援を必要としている<sup>[5]</sup>。また、これらの状況に起因し、心理的ストレスを抱え、精神保健・心理社会的支援(MHPSS)を必要とする人々は700万人に上ると推計されている<sup>[6]</sup>

JPFでは国連等の対応計画でも定められている現金給付や心理社会的支援の提供、地域向けの啓発活動や保護システムの強化、ケースマネジメント(特に保護を必要とする対象者への個別支援)などを通して最も脆弱な状態に置かれた人々を保護し、命と尊厳を守るとともに、人々のレジリエンスを高めていく。

<sup>[1]</sup> OCHA, Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026, March 2026, p.56

<sup>[2]</sup> OCHA, Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026, March 2026, p.56-7

<sup>[3]</sup> OCHA, Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026, March 2026, p.44

<sup>[4]</sup> ACAPS, Yemen: Access to and awareness of integrated gender-based violence and reproductive health services for women and girls, September 2025, p3

<sup>[5]</sup> OCHA, Yemen Humanitarian Needs and Response Plan 2026, March 2026, p.56-7

<sup>[6]</sup> WHO, The silent struggle: Yemen' s mental health crisis January 2024 (Accessed 15 April 2026)

以上